

2019年度  
(平成30年12月～令和1年11月)

# 環境活動レポート



令和2年7月31日

川村産業株式会社

# 目 次

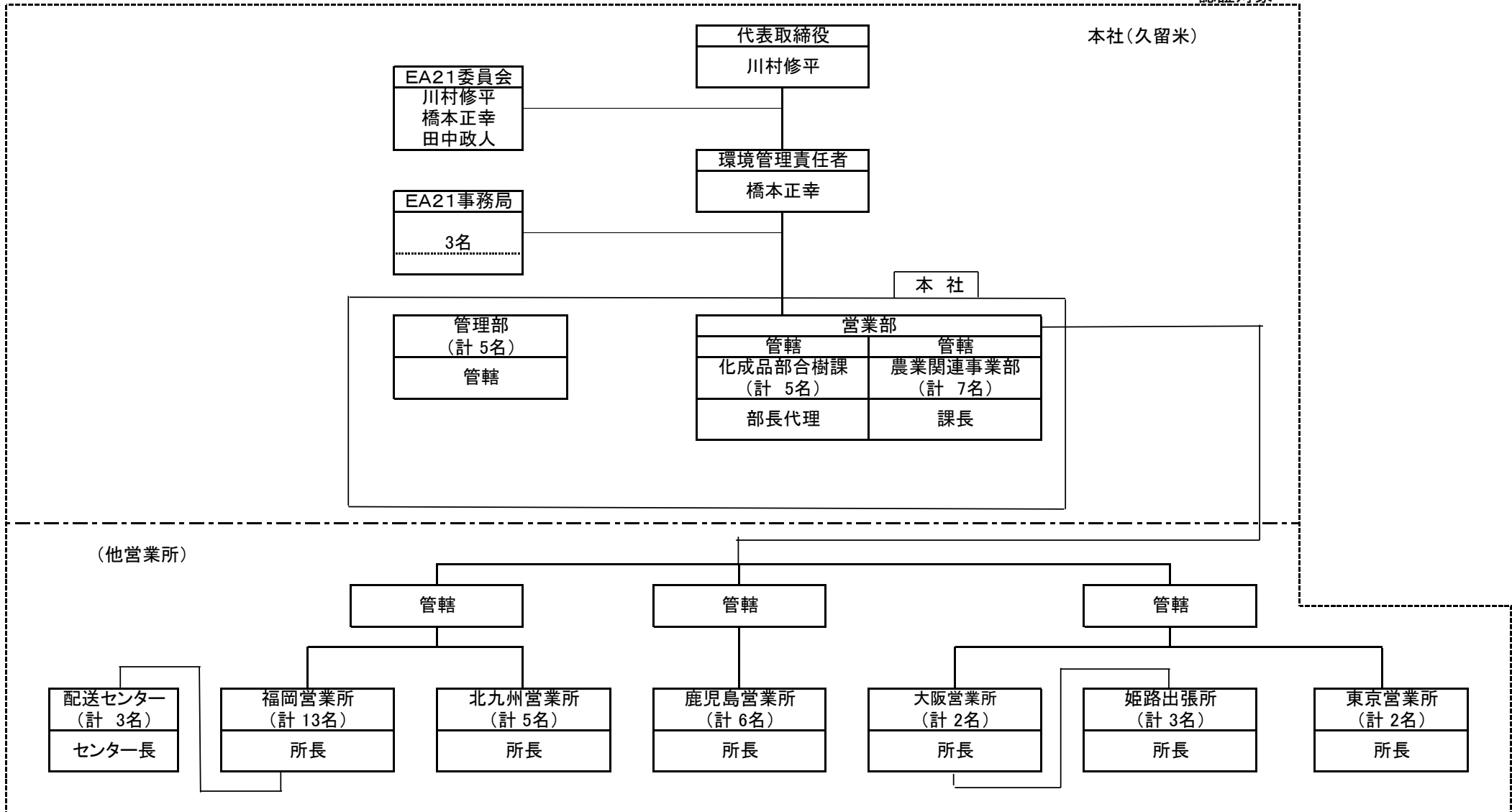
1. 組織の概要
2. 環境方針
3. 環境目標
4. 主要な環境活動計画
5. 環境目標の実績、環境目標と実績推移グラフ
6. 環境計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、  
訴訟等の有無
8. 代表者による全体評価と見直しの結果

# 1. 組織の概要

(1)事業所名 代表者氏名	川村産業株式会社 代表取締役 川村 修平																													
(2)所在地	本社 〒830-0031 福岡県久留米市六ツ門町17-11 福岡営業部 〒812-0878 福岡市博多竹丘町2-3-9 楓通り筑紫式番館3F 北九州営業所 〒802-0015 北九州市小倉北区大田町14-19 鹿児島営業所 〒891-0115 鹿児島市東開町12-9 大阪営業所 〒550-0005 大阪市西区西本町1丁目10-3新松岡ビル601号 東京営業所 〒140-0013 東京都品川区南大井3-5-10カーサグランデ201号 姫路出張所 〒672-8072 兵庫県姫路市飾磨区蓼野町94-101 配送センター 〒841-0042 佐賀県鳥栖市酒井西町839-1																													
(3)環境管理責任者 担当者氏名 連絡先	管理部取締役 橋本 正幸 管理部総務課 御厨 幸博 TEL 0942-33-5195 FAX 0942-36-1117																													
(4)事業の概要	卸売業：食品原材料、包装資材、機械、合成樹脂原料及び関連製品、 農業関連資材の販売																													
(5)事業の規模	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>2019年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td>百万円</td> <td>7,118</td> <td>6,995</td> <td>7,051</td> <td>6,737</td> </tr> <tr> <td>従業員数</td> <td>人</td> <td>57</td> <td>57</td> <td>56</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>4,661</td> <td>4,661</td> <td>4,661</td> <td>4,774</td> </tr> </tbody> </table>							単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	2019年度	売上高	百万円	7,118	6,995	7,051	6,737	従業員数	人	57	57	56	60	面積	m <sup>2</sup>	4,661	4,661	4,661	4,774
	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	2019年度																									
売上高	百万円	7,118	6,995	7,051	6,737																									
従業員数	人	57	57	56	60																									
面積	m <sup>2</sup>	4,661	4,661	4,661	4,774																									
(6)認証・登録範囲	対象範囲：全組織 事業活動：食品原材料、包装資材、機械、合成樹脂原料及び関連製品、 農業関連資材の販売																													

(7)EA21実施体制

認証対象



## 2. 環境方針

### 川村産業株式会社

筑後川に臨む豊かな自然環境に抱かれている当社は環境との調和と、地域社会との共生を重要課題としています。

当社は環境に関する法令を遵守し、当社の営業活動によって生じる環境負荷を把握して、環境に対する影響の低減と美しい久留米の自然を保全していくことに努めます。

1. 次の事項に取り組みます。

- (1) 廃棄物の削減及び再生利用の促進
  - ・ 廃棄物の削減及び再生利用の促進
  - ・ 食品廃棄物の削減
- (2) 二酸化炭素排出削減の取り組み
  - ・ 電力・化石燃料の使用削減
  - ・ ハイブリッド車への切替
- (3) 水使用量の削減
- (4) グリーン購入の推進

2. 自ら生産・販売・提供する製品及びサービスに関する項目

- (1) 製品の配送ルートを効率化する

3. 関係する環境関連法規を遵守します。

4. 地域貢献活動の推進

- (1) 事業所周辺の清掃活動
- (2) 地域ボランティアの参加

5. 各期の最後に「環境活動レポート」を作成し、公表します。

2014年 2月25日  
川村産業株式会社  
代表取締役 川村 修平

### 3. 環境目標

\*平成28年度は平成26年度実績の99%を設定しています。

\*平成29年度は平成26年度実績の98%を設定しています。

\*平成30年度は平成26年度実績の97%を設定しています。

\*平成31年度は平成26年度実績の96%を設定しています。

環境目標		単位	該当事業所	平成26年度実績	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-co2	全社	210,631	208,539	206,417	204,311	202,205
			本社	121,742	120,532	119,307	118,089	116,873
			管理部	38,456	38,071	37,687	37,302	36,918
			合樹課	11,987	11,871	11,747	11,627	11,508
			農業関連	24,368	24,129	23,881	23,637	23,393
			本店営業	46,931	46,461	45,992	45,523	45,054
			福岡営業所	25,398	25,146	24,890	24,636	24,382
			北九州営業所	31,814	31,496	31,178	30,860	30,541
			鹿児島営業所	19,646	19,451	19,253	19,057	18,860
			大阪営業所	10,030	9,934	9,829	9,729	9,629
東京営業所	2,000	1,980	1,960	1,940	1,920			
(1)	電気使用量の削減(九電)	kWh	全社	107,657	106,581	105,504	104,427	103,351
			本社	49,460	48,965	48,471	47,976	47,482
			福岡営業所	11,659	11,543	11,426	11,309	11,193
			北九州営業所	25,683	25,425	25,169	24,913	24,656
			鹿児島営業所	10,395	10,294	10,187	10,083	9,979
	電気使用量の削減(関電)		大阪営業所	6,693	6,626	6,559	6,492	6,425
	電気使用量の削減(東電)		東京営業所	3,767	3,728	3,692	3,654	3,616
(2)	都市ガス使用量の削減	m3	全社	50	49	49	48	48
			本社	35	34	34	33	33
			福岡営業所	7	7	7	7	7
			北九州営業所	0	0	0	0	0
			鹿児島営業所	8	8	8	8	8
			大阪営業所	0	0	0	0	0
			東京営業所	0	0	0	0	0
(3)	ガソリン使用量の削減	L	全社	44,581	44,143	43,690	43,244	42,798
			本社	22,357	22,137	21,910	21,687	21,462
			管理部	3,473	3,439	3,404	3,369	3,334
			合樹課	5,163	5,113	5,060	5,008	4,956
			農業関連	7,739	7,663	7,584	7,507	7,429
			本店営業	5,982	5,922	5,862	5,803	5,743
			福岡営業所	7,855	7,777	7,698	7,619	7,541
			北九州営業所	6,922	6,853	6,784	6,714	6,645
			鹿児島営業所	5,710	5,653	5,596	5,539	5,482
			大阪営業所	1,737	1,723	1,702	1,685	1,668
東京営業所	0	0	0	0	0			
(4)	軽油使用量の削減	L	全社	15,984	15,823	15,664	15,504	15,344
			本社	15,030	14,880	14,729	14,579	14,428
			管理部	0	0	0	0	0
			合樹課	0	0	0	0	0
			農業関連	2,439	2,415	2,390	2,366	2,341
			本店営業	12,591	12,465	12,339	12,213	12,087
			福岡営業所	0	0	0	0	0
			北九州営業所	0	0	0	0	0
			鹿児島営業所	0	0	0	0	0
			大阪営業所	954	943	935	925	916
東京営業所	0	0	0	0	0			

\*平成28年度は平成26年度実績の99%を設定しています。

\*平成29年度は平成26年度実績の98%を設定しています。

\*平成30年度は平成26年度実績の97%を設定しています。

\*平成31年度は平成26年度実績の96%を設定しています。

環境目標		単位	該当事業所	平成26年度実績	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
2	(1) 廃棄物排出量の削減	kg	全社	22,850	22,619	22,392	22,164	21,936
			本社	5,954	5,894	5,835	5,775	5,716
			福岡営業所	480	475	470	466	461
			北九州営業所	14,890	14,742	14,592	14,443	14,294
			鹿児島営業所	192	190	188	186	184
			大阪営業所	1,277	1,262	1,251	1,239	1,226
			東京営業所	57	56	56	55	55
(2)	食品廃棄物排出量の削減	kg	全社	0	0	0	0	0
			本社	0	0	0	0	0
			福岡営業所	0	0	0	0	0
			北九州営業所	0	0	0	0	0
			鹿児島営業所	0	0	0	0	0
			大阪営業所	0	0	0	0	0
			東京営業所	0	0	0	0	0
3	水使用量の削減	m3	全社	475	469	465	461	456
			本社	292	290	286	283	280
			福岡営業所	0	0	0	0	0
			北九州営業所	53	52	52	51	51
			鹿児島営業所	50	49	49	49	48
			大阪営業所	49	48	48	48	47
			東京営業所	31	30	30	30	30
4	自ら生産・販売・提供する製品 及びサービスに関する項目  ・製品の配送ルートを効率化する		全社	実施	実施	実施	実施	実施
			本社					
			福岡営業所					
			北九州営業所					
			鹿児島営業所					
			大阪営業所					
			東京営業所					
5	グリーン購入の推進 ・文房具の割合(品数)	個数	全社	1,102	1,115	1,123	1,135	1,147
			本社	716	723	730	737	745
			福岡営業所	67	68	68	69	70
			北九州営業所	0	1	0	0	0
			鹿児島営業所	289	292	295	298	301
			大阪営業所	24	25	24	25	25
			東京営業所	6	6	6	6	6
6	(1) 地域貢献活動 朝の事業所周辺の清掃	回数	全社	1,596	1,584	1,584	1,584	1,584
			本社	266	264	264	264	264
			福岡営業所	266	264	264	264	264
			北九州営業所	266	264	264	264	264
			鹿児島営業所	266	264	264	264	264
			大阪営業所	266	264	264	264	264
			東京営業所	266	264	264	264	264
(2)	地域清掃の実施 (地域ボランティアの参加)	回数	全社	11	36	36	36	36
			本社	2	16	16	16	16
			管理 部	2	4	4	4	4
			合樹 課	0	4	4	4	4
			農業 関連	0	4	4	4	4
			本店 営業	0	4	4	4	4
			福岡 営業所	4	4	4	4	4
			北九州 営業所	0	4	4	4	4
			鹿児島 営業所	0	4	4	4	4
			大阪 営業所	0	4	4	4	4
			東京 営業所	5	4	4	4	4

## 4. 主要な環境活動計画

### 4-1 二酸化炭素排出量削減のための取組

(1) 電気使用量の削減 (H26年度実績比 $\Delta$ 4%) (次年度: H30年度実績比 $\Delta$ 1%)

- ① エアコンの温度調整をまめに行う
- ② 使用していないパソコンの電源を切る
- ③ 昼休み時間の消灯
- ④ 最後に帰る者が不要な電気がついていないか確認して帰る

(2) ガソリン・軽油の使用量削減 (H26年度実績比 $\Delta$ 4%) (次年度: H30年度実績比 $\Delta$ 1%)

- ① エコドライブの実施
- ② 空気圧のチェック
- ③ ハイブリッド車への切替

### 4-2 廃棄物排出量削減のための取組 (H26年度実績比 $\Delta$ 4%) (次年度: H30年度実績比 $\Delta$ 1%)

(1) 廃棄物排出量の削減

- ① 不要な商品を購入しない。
- ② 使い捨て商品の使用や購入の抑制

(2) 食品廃棄物最終処分量の削減

- ① 営業活動における破損品などの抑制及び再生利用

### 4-3 排水量削減のための取組 (H26年度実績比 $\Delta$ 4%) (次年度: H30年度実績比 $\Delta$ 1%)

- ① 節水ラベルの貼付

### 4-4 自ら生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組み

- ① 製品配送ルート効率化

### 4-5 グリーン購入の推進 (H26年度実績比+4%) (次年度: H30年度実績比+1%)

- ① グリーン購入相当品の調査・購入

### 4-6 地域貢献活動の推進

- ① 朝の事業所周辺の清掃
- ② 地域清掃の実施 (地域ボランティアの参加)



## 5. 環境目標の実績

全社

エコアクション21を運用した平成30年12月～令和1年11月における目標に対する実績は次の通りであった。

\* 使用電力の二酸化炭素排出量は、各電力会社の平成25年度の実排出係数を使用して算出した。

(九州電力 0.613Kg-CO<sub>2</sub>/kWh 関西電力 0.522Kg-CO<sub>2</sub>/kWh 東京電力 0.531Kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

	単位	平成26年実績	平成30年12月～ 令和1年11月の 目標	平成30年12月～ 令和1年11月の 実績	達成状況	達成率
二酸化炭素排出量4%削減	Kg-CO <sub>2</sub>	210,631	202,205	179,614	○	111.17
			月平均 16,850	月平均 14,968		
九州電力 電気使用量4%削減	kWh	97,197	93,310	71,606	○	123.26
			月平均 7,776	月平均 5,967		
関西電力 電気使用量4%削減	kWh	6,693	6,425	5,561	○	113.45
			月平均 535	月平均 463		
東京電力 電気使用量4%削減	kWh	3,767	3,616	3,268	○	109.62
			月平均 301	月平均 272		
ガソリン使用量4%削減	L	44,581	42,798	35,327	○	117.46
			月平均 3,567	月平均 2,944		
軽油使用量4%削減	L	15,984	15,344	18,674	×	78.30
			月平均 1,279	月平均 1,556		
都市ガス使用量4%削減	Nm <sup>3</sup>	50	48	27	○	143.75
			月平均 4	月平均 2		
廃棄物排出量4%削減	Kg	22,850	21,936	14,198	○	135.28
			月平均 1,828	月平均 1,183		
食品廃棄物排出量の削減	Kg	0	0	0	○	
水使用量4%削減	m <sup>3</sup>	475	456	427	○	106.36
			月平均 38	月平均 36		
製品の配送ルートを効率化する		実施	実施	実施	○	
グリーン購入の推進 購入個数4%増加	購入個数	1,102	1,147	827	×	72.10
朝の事業所周辺の清掃 出勤日は毎朝1回	回数	1,596	1,584	1,444	×	91.16
地域清掃の実施 (地域ボランティアの参加) 部門毎に3ヶ月に1回	回数	11	36	32	×	88.89

その他取組事項 エコキャップ回収	個	2,299	0	1,700		
---------------------	---	-------	---	-------	--	--

※削減が目標の項目の達成率は、(目標値-実績値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

※増加が目標の項目の達成率は、(実績値-目標値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

部門評価	二酸化炭素排出量は前年比2%減で目標値もクリア。要因は電気使用量とガソリン使用量の節減によるもので空調機器入替えによる電力量軽減の継続とハイブリッド車今期6台の導入効果と思われる。配送トラック1台増車(鹿児島)と配送稼働向上による軽油量増(前年比29%増加)があるが営業活動によるもので抑制しない、配送ルートの効率化を推進し節減に繋げる。					
------	---	--	--	--	--	--

## 5. 環境目標の実績

### 本社

エコアクション21を運用した平成30年12月～令和1年11月における目標に対する実績は次の通りであった。

\* 使用電力の二酸化炭素排出量は、各電力会社の平成25年度の実排出係数を使用して算出した。

(九州電力 0.613Kg-CO<sub>2</sub>/kWh 関西電力 0.522Kg-CO<sub>2</sub>/kWh 東京電力 0.531Kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

	単位	平成26年実績	平成30年12月～ 令和1年11月の 目標	平成30年12月～ 令和1年11月の 実績	達成状況	達成率
二酸化炭素排出量4%削減	Kg-CO <sub>2</sub>	121,742	116,873 月平均 9,739	65,059 月平均 5,422	○	144.33
九州電力 電気使用量4%削減	kWh	49,460	47,482 月平均 3,957	33,804 月平均 2,817	○	128.81
関西電力 電気使用量4%削減	kWh					
東京電力 電気使用量4%削減	kWh					
ガソリン使用量4%削減	L	22,357	21,462 月平均 1,789	15,886 月平均 1,324	○	125.98
軽油使用量4%削減	L	15,030	14,428 月平均 1,202	2,823 月平均 235	○	180.43
都市ガス使用量4%削減	Nm3	35	33 月平均 3	22 月平均 2	○	133.33
廃棄物排出量4%削減	Kg	5,954	5,716 月平均 476	2,720 月平均 227	○	152.41
食品廃棄物排出量の削減	Kg	0	0	0	○	
水使用量4%削減	m3	292	280 月平均 23	189 月平均 16	○	132.50
製品の配送ルートを効率化する		実施	実施	実施	○	
グリーン購入の推進 購入個数4%増加	購入個数	716	745	490	×	65.77
朝の事業所周辺の清掃 出勤日は毎朝1回	回数	266	264	246	×	93.18
地域清掃の実施 (地域ボランティアの参加) 部門毎に3ヶ月に1回	回数	2	16	11	×	68.75

その他取組事項 エコキャップ回収	個	2,299	0	1,700		
---------------------	---	-------	---	-------	--	--

※削減が目標の項目の達成率は、(目標値-実績値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

※増加が目標の項目の達成率は、(実績値-目標値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

部門評価	本店(営)と配送が福岡(営)へ統合され燃料量が大きく軽減し二酸化炭素排出量(前年比61%)は達成。地域清掃はもう少しと思われ情報収集を継続する。
------	--

## 5. 環境目標の実績

管理部

エコアクション21を運用した平成30年12月～令和1年11月における目標に対する実績は次の通りであった。

\* 使用電力の二酸化炭素排出量は、各電力会社の平成25年度の実排出係数を使用して算出した。

(九州電力 0.613Kg-CO<sub>2</sub>/kWh 関西電力 0.522Kg-CO<sub>2</sub>/kWh 東京電力 0.531Kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

	単位	平成26年実績	平成30年12月～ 令和1年11月の 目標	平成30年12月～ 令和1年11月の 実績	達成状況	達成率
二酸化炭素排出量4%削減	Kg-CO <sub>2</sub>	38,456	36,918	34,083	○	107.68
			月平均 3,077	月平均 2,840		
九州電力 電気使用量4%削減	kWh	49,460	47,482	33,804	○	128.81
			月平均 3,957	月平均 2,817		
関西電力 電気使用量4%削減	kWh					
東京電力 電気使用量4%削減	kWh					
ガソリン使用量4%削減	L	3,473	3,334	5,735	×	27.98
			月平均 278	月平均 478		
軽油使用量4%削減	L	0	0	0	○	#DIV/0!
			月平均 0	月平均 0		
都市ガス使用量4%削減	Nm3	35	33	22	○	133.33
			月平均 3	月平均 2		
廃棄物排出量4%削減	Kg	5,954	5,716	2,720	○	152.41
			月平均 476	月平均 227		
食品廃棄物排出量の削減	Kg	0	0	0	○	
水使用量4%削減	m3	292	280	189	○	132.50
			月平均 23	月平均 16		
製品の配送ルートを効率化する		実施	実施	実施	○	
グリーン購入の推進 購入個数4%増加	購入個数	716	745	490	×	65.77
朝の事業所周辺の清掃 出勤日は毎朝1回	回数	266	264	246	×	93.18
地域清掃の実施 (地域ボランティアの参加) 部門毎に3ヶ月に1回	回数	2	4	1	×	25.00

その他取組事項 エコキャップ回収	個	2,299	0	1,700		
---------------------	---	-------	---	-------	--	--

※削減が目標の項目の達成率は、(目標値-実績値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

※増加が目標の項目の達成率は、(実績値-目標値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

部門評価	昨年まで配送を管轄しており軽油量目標「0」に対し丸々実績が解消しガソリン量超過も電力量 削減要因で二酸化炭素排出量クリア。地域清掃は未だ情報不足で未達、引続き情報収集から の実績付けを推進する。					
------	---	--	--	--	--	--

## 5. 環境目標の実績

### 化成品部合樹課

エコアクション21を運用した平成30年12月～令和1年11月における目標に対する実績は次の通りであった。

\* 使用電力の二酸化炭素排出量は、各電力会社の平成25年度の実排出係数を使用して算出した。  
 (九州電力 0.613Kg-CO<sub>2</sub>/kWh 関西電力 0.522Kg-CO<sub>2</sub>/kWh 東京電力 0.531Kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

	単位	平成26年実績	平成30年12月～ 令和1年11月の 目標	平成30年12月～ 令和1年11月の 実績	達成状況	達成率
二酸化炭素排出量4%削減	Kg-CO <sub>2</sub>	11,987	11,508	10,591	○	107.97
			月平均 959	月平均 883		
九州電力 電気使用量4%削減	kWh					
関西電力 電気使用量4%削減	kWh					
東京電力 電気使用量4%削減	kWh					
ガソリン使用量4%削減	L	5,163	4,956	4,562	○	107.95
			月平均 413	月平均 380		
軽油使用量4%削減	L					
都市ガス使用量4%削減	Nm <sup>3</sup>					
廃棄物排出量4%削減	Kg					
食品廃棄物排出量の削減	Kg					
水使用量4%削減	m <sup>3</sup>					
製品の配送ルートを効率化する		実施	実施	実施	○	
グリーン購入の推進 購入個数4%増加	購入個数					
朝の事業所周辺の清掃 出勤日は毎朝1回	回数					
地域清掃の実施 (地域ボランティアの参加) 部門毎に3ヶ月に1回	回数	0	4	6	○	150.00

その他取組事項 エコキャップ回収	個					
---------------------	---	--	--	--	--	--

※削減が目標の項目の達成率は、(目標値-実績値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

※増加が目標の項目の達成率は、(実績値-目標値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

部門評価	燃料使用量は前年比70%で目標も達成、営業範囲の拡大取組みを経て範囲選択が要因と思われる。 引続き、営業活動は抑制しないがエコ21取組み意識を持ち拡販に努める。
------	---

## 5. 環境目標の実績

### 農業関連事業部

エコアクション21を運用した平成30年12月～令和1年11月における目標に対する実績は次の通りであった。

\* 使用電力の二酸化炭素排出量は、各電力会社の平成25年度の実排出係数を使用して算出した。  
 (九州電力 0.613Kg-CO<sub>2</sub>/kWh 関西電力 0.522Kg-CO<sub>2</sub>/kWh 東京電力 0.531Kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

	単位	平成26年実績	平成30年12月～ 令和1年11月の 目標	平成30年12月～ 令和1年11月の 実績	達成状況	達成率
二酸化炭素排出量4%削減	Kg-CO <sub>2</sub>	24,368	23,393 月平均 1,949	20,384 月平均 1,699	○	112.86
九州電力 電気使用量4%削減	kWh					
関西電力 電気使用量4%削減	kWh					
東京電力 電気使用量4%削減	kWh					
ガソリン使用量4%削減	L	7,739	7,429 月平均 619	5,589 月平均 466	○	124.77
軽油使用量4%削減	L	2,439	2,341 月平均 195	2,823 月平均 235	×	79.41
都市ガス使用量4%削減	Nm3					
廃棄物排出量4%削減	Kg					
食品廃棄物排出量の削減	Kg					
水使用量4%削減	m3					
製品の配送ルートを効率化する		実施	実施	実施	○	
グリーン購入の推進 購入個数4%増加	購入個数					
朝の事業所周辺の清掃 出勤日は毎朝1回	回数					
地域清掃の実施 (地域ボランティアの参加) 部門毎に3ヶ月に1回	回数	0	4	4	○	100.00

その他取組事項 エコキャップ回収	個					
---------------------	---	--	--	--	--	--

※削減が目標の項目の達成率は、(目標値-実績値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

※増加が目標の項目の達成率は、(実績値-目標値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

部門評価	昨年からの配送トラック稼働増で軽油量増加、配送稼働の抑制はしないが効率化は、部所打合せ時に推進している。改善(案)はいつでも検討する姿勢で取組んでいる
------	---

## 5. 環境目標の実績

### 本店営業部

エコアクション21を運用した平成30年12月～令和1年11月における目標に対する実績は次の通りであった。

\* 使用電力の二酸化炭素排出量は、各電力会社の平成25年度の実排出係数を使用して算出した。

(九州電力 0.613Kg-CO<sub>2</sub>/kWh 関西電力 0.522Kg-CO<sub>2</sub>/kWh 東京電力 0.531Kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

	単位	平成26年実績	平成30年12月～ 令和1年11月の 目標	平成30年12月～ 令和1年11月の 実績	達成状況	達成率
二酸化炭素排出量4%削減	Kg-CO <sub>2</sub>	46,931	45,054	0	○	200.00
			月平均 3,755	月平均 0		
九州電力 電気使用量4%削減	kWh					
関西電力 電気使用量4%削減	kWh					
東京電力 電気使用量4%削減	kWh					
ガソリン使用量4%削減	L	5,982	5,743	0	○	200.00
			月平均 479	月平均 0		
軽油使用量4%削減	L	12,591	12,087	0	○	200.00
			月平均 1,007	月平均 0		
都市ガス使用量4%削減	Nm3					
廃棄物排出量4%削減	Kg					
食品廃棄物排出量の削減	Kg	0	0	0	○	
水使用量4%削減	m3					
製品の配送ルートを効率化する		実施	実施	実施	○	
グリーン購入の推進 購入個数4%増加	購入個数					
朝の事業所周辺の清掃 出勤日は毎朝1回	回数					
地域清掃の実施 (地域ボランティアの参加) 部門毎に3ヶ月に1回	回数	0	4	0	×	0.00

その他取組事項 エコキャップ回収	個					
---------------------	---	--	--	--	--	--

※削減が目標の項目の達成率は、(目標値-実績値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

※増加が目標の項目の達成率は、(実績値-目標値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

部門評価	新年度(12月)より福岡営業部へ統合した為、項目の実績はなし ※二酸化炭素排出量は、本店+福岡(営)の目標と福岡(営)の実績達成率は117.82と成った
------	---

## 5. 環境目標の実績

### 福岡営業部

エコアクション21を運用した平成30年12月～令和1年11月における目標に対する実績は次の通りであった。

\* 使用電力の二酸化炭素排出量は、各電力会社の平成25年度の実排出係数を使用して算出した。

(九州電力 0.613Kg-CO<sub>2</sub>/kWh 関西電力 0.522Kg-CO<sub>2</sub>/kWh 東京電力 0.531Kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

	単位	平成26年実績	平成30年12月～ 令和1年11月の 目標	平成30年12月～ 令和1年11月の 実績	達成状況	達成率
二酸化炭素排出量4%削減	Kg-CO <sub>2</sub>	25,398	24,382	57,082	×	-34.12
			月平均 2,032	月平均 4,757		
九州電力 電気使用量4%削減	kWh	11,659	11,193	14,837	×	67.44
			月平均 933	月平均 1,236		
関西電力 電気使用量4%削減	kWh					
東京電力 電気使用量4%削減	kWh					
ガソリン使用量4%削減	L	7,855	7,541	9,164	×	78.48
			月平均 628	月平均 764		
軽油使用量4%削減	L	0	0	10,172	×	#DIV/0!
			月平均 0	月平均 848		
都市ガス使用量4%削減	Nm3	7	7	0	○	200.00
			月平均 1	月平均 0		
廃棄物排出量4%削減	Kg	480	461	390	○	115.40
			月平均 38	月平均 33		
食品廃棄物排出量の削減	Kg	0	0	0	○	
水使用量4%削減	m3	0	0	0	○	
			月平均 0	月平均 0		
製品の配送ルートを効率化する		実施	実施	実施	○	
グリーン購入の推進 購入個数4%増加	購入個数	67	70	51	×	72.86
朝の事業所周辺の清掃 出勤日は毎朝1回	回数	266	264	245	×	92.80
地域清掃の実施 (地域ボランティアの参加) 部門毎に3ヶ月に1回	回数	4	4	5	○	125.00

その他取組事項 エコキャップ回収	個					
---------------------	---	--	--	--	--	--

※削減が目標の項目の達成率は、(目標値-実績値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

※増加が目標の項目の達成率は、(実績値-目標値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

部門評価	本店(営)と統合し営業人員増でガソリン量は前年比2倍強、配送トラックも統合し丸々増加の要因で二酸化炭素排出量目標大幅未達。次年度は新しい目標設定となるので新たな気持ちで取り組む。廃棄物量は「紙」資料の電子化で人員増による増加は見られない。打合せ時のエコ21取組み推進を図る。
------	---

## 5. 環境目標の実績

### 北九州営業所

エコアクション21を運用した平成30年12月～令和1年11月における目標に対する実績は次の通りであった。

\* 使用電力の二酸化炭素排出量は、各電力会社の平成25年度の実排出係数を使用して算出した。

(九州電力 0.613Kg-CO<sub>2</sub>/kWh 関西電力 0.522Kg-CO<sub>2</sub>/kWh 東京電力 0.531Kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

	単位	平成26年実績	平成30年12月～ 令和1年11月の 目標	平成30年12月～ 令和1年11月の 実績	達成状況	達成率
二酸化炭素排出量4%削減	Kg-CO <sub>2</sub>	31,814	30,541	17,876	○	141.47
			月平均 2,545	月平均 1,490		
九州電力 電気使用量4%削減	kWh	25,683	24,656	15,906	○	135.49
			月平均 2,055	月平均 1,326		
関西電力 電気使用量4%削減	kWh					
東京電力 電気使用量4%削減	kWh					
ガソリン使用量4%削減	L	6,922	6,645	3,500	○	147.33
			月平均 554	月平均 292		
軽油使用量4%削減	L					
都市ガス使用量4%削減	Nm3	0	0	0	○	
			月平均 0	月平均 0		
廃棄物排出量4%削減	Kg	14,890	14,294	9,370	○	134.45
			月平均 1,191	月平均 781		
食品廃棄物排出量の削減	Kg	0	0	0	○	
水使用量4%削減	m3	83	51	56	×	90.20
			月平均 4	月平均 5		
製品の配送ルートを効率化する		実施	実施	実施	○	
グリーン購入の推進 購入個数4%増加	購入個数	0	0	13	○	
朝の事業所周辺の清掃 出勤日は毎朝1回	回数	266	264	246	×	93.18
地域清掃の実施 (地域ボランティアの参加) 部門毎に3ヶ月に1回	回数	0	4	0	×	0.00

その他取組事項 エコキャップ回収	個					
---------------------	---	--	--	--	--	--

※削減が目標の項目の達成率は、(目標値-実績値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

※増加が目標の項目の達成率は、(実績値-目標値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

部門評価	営業人員減少もありガソリン量は、対前年78%、人員補充時の増加は止む無しが無駄使いを避け、行動ルートの効率化を念頭に節減に努めたい。地域清掃の情報収集は継続中で来期実績付けを期待する。
------	--



## 5. 環境目標の実績

### 鹿児島営業所

エコアクション21を運用した平成30年12月～令和1年11月における目標に対する実績は次の通りであった。

\* 使用電力の二酸化炭素排出量は、各電力会社の平成25年度の実排出係数を使用して算出した。

(九州電力 0.613Kg-CO<sub>2</sub>/kWh 関西電力 0.522Kg-CO<sub>2</sub>/kWh 東京電力 0.531Kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

	単位	平成26年実績	平成30年12月～ 令和1年11月の 目標	平成30年12月～ 令和1年11月の 実績	達成状況	達成率
二酸化炭素排出量4%削減	Kg-CO <sub>2</sub>	19,646	18,860	30,495	×	38.31
			月平均 1,572	月平均 2,541		
九州電力 電気使用量4%削減	kWh	10,395	9,979	7,059	○	129.26
			月平均 832	月平均 588		
関西電力 電気使用量4%削減	kWh					
東京電力 電気使用量4%削減	kWh					
ガソリン使用量4%削減	L	5,710	5,482	5,438	×	100.80
			月平均 457	月平均 453		
軽油使用量4%削減	L	0	0	5,154	×	#DIV/0!
			月平均 0	月平均 430		
都市ガス使用量4%削減	Nm3	8	8	8	×	100.00
			月平均 1	月平均 1		
廃棄物排出量4%削減	Kg	192	184	138	○	125.00
			月平均 15	月平均 12		
食品廃棄物排出量の削減	Kg	0	0	0	○	
水使用量4%削減	m3	50	48	53	×	89.58
			月平均 4	月平均 4		
製品の配送ルートを効率化する		実施	実施	実施	○	
グリーン購入の推進 購入個数4%増加	購入個数	289	301	245	×	81.40
朝の事業所周辺の清掃 出勤日は毎朝1回	回数	266	264	217	×	82.20
地域清掃の実施 (地域ボランティアの参加) 部門毎に3ヶ月に1回	回数	0	4	12	○	300.00

その他取組事項 エコキャップ回収	個					
---------------------	---	--	--	--	--	--

※削減が目標の項目の達成率は、(目標値-実績値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

※増加が目標の項目の達成率は、(実績値-目標値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

部門評価	前年度より配送トラック導入で軽油使用開始、目標「0」での実績とガソリン量の未達(前年比63%だが)要因で二酸化炭素排出量大幅未達。燃料量は更なる効率アップを考え引き続き削減を図る。 地域清掃は引き続き確実な参加で達成する。
------	--

## 5. 環境目標の実績

### 大阪営業所

エコアクション21を運用した平成30年12月～令和1年11月における目標に対する実績は次の通りであった。

\* 使用電力の二酸化炭素排出量は、各電力会社の平成25年度の実排出係数を使用して算出した。

(九州電力 0.613Kg-CO<sub>2</sub>/kWh 関西電力 0.522Kg-CO<sub>2</sub>/kWh 東京電力 0.531Kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

	単位	平成26年実績	平成30年12月～ 令和1年11月の 目標	平成30年12月～ 令和1年11月の 実績	達成状況	達成率
			月平均	月平均		
二酸化炭素排出量4%削減	Kg-CO <sub>2</sub>	10,030	9,629	7,389	○	123.26
			月平均 802	月平均 616		
九州電力 電気使用量4%削減	kWh					
関西電力 電気使用量4%削減	kWh	6,693	6,425	5,561	○	113.45
			月平均 535	月平均 463		
東京電力 電気使用量4%削減	kWh					
ガソリン使用量4%削減	L	1,737	1,668	1,339	○	119.72
			月平均 139	月平均 112		
軽油使用量4%削減	L	954	916	525	○	142.69
			月平均 76	月平均 44		
都市ガス使用量4%削減	Nm <sup>3</sup>	0				
廃棄物排出量4%削減	Kg	1,277	1,226	1,499	×	77.73
			月平均 102	月平均 125		
食品廃棄物排出量の削減	Kg	0	0	0	○	
水使用量4%削減	m <sup>3</sup>	49	47	98	×	-8.51
			月平均 4	月平均 8		
製品の配送ルートを効率化する		実施	実施	実施	○	
グリーン購入の推進 購入個数4%増加	購入個数	24	25	28	○	112.00
朝の事業所周辺の清掃 出勤日は毎朝1回	回数	266	264	245	×	92.80
地域清掃の実施 (地域ボランティアの参加) 部門毎に3ヶ月に1回	回数	0	4	0	×	0.00

その他取組事項 エコキャップ回収	個					
---------------------	---	--	--	--	--	--

※削減が目標の項目の達成率は、(目標値-実績値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

※増加が目標の項目の達成率は、(実績値-目標値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

部門評価	昨年より実施している営業資料の電子化による「紙」の廃棄軽減は継続中で廃棄物量は、前年比69%の実績も目標未達、水使用量と共に次年度達成を目指す。地域清掃は各自の認識向上を図り地区の情報収集に努め実績を付けたい。
------	---

## 5. 環境目標の実績

### 東京営業所

エコアクション21を運用した平成30年12月～令和1年11月における目標に対する実績は次の通りであった。

\* 使用電力の二酸化炭素排出量は、各電力会社の平成25年度の実排出係数を使用して算出した。

(九州電力 0.613Kg-CO<sub>2</sub>/kWh 関西電力 0.522Kg-CO<sub>2</sub>/kWh 東京電力 0.531Kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

	単位	平成26年実績	平成30年12月～ 令和1年11月の 目標	平成30年12月～ 令和1年11月の 実績	達成状況	達成率
二酸化炭素排出量4%削減	Kg-CO <sub>2</sub>	2,000	1,920 月平均 160	1,735 月平均 145	○	109.64
九州電力 電気使用量4%削減	kWh					
関西電力 電気使用量4%削減	kWh					
東京電力 電気使用量4%削減	kWh	3,767	3,616 月平均 301	3,268 月平均 272	○	109.62
ガソリン使用量4%削減	L					
軽油使用量4%削減	L					
都市ガス使用量4%削減	Nm <sup>3</sup>					
廃棄物排出量4%削減	Kg	57	55 月平均 5	81 月平均 7	×	52.73
食品廃棄物排出量の削減	Kg	0	0	0	○	
水使用量4%削減	m <sup>3</sup>	31	30 月平均 3	31 月平均 3	×	96.67
製品の配送ルートを効率化する		実施	実施	実施	○	
グリーン購入の推進 購入回数4%増加	購入回数	6	6	0	×	0.00
朝の事業所周辺の清掃 出勤日は毎朝1回	回数	266	264	245	×	92.80
地域清掃の実施 (地域ボランティアの参加) 部門毎に3ヶ月に1回	回数	5	4	4	○	100.00

その他取組事項 エコキャップ回収	個					
---------------------	---	--	--	--	--	--

※削減が目標の項目の達成率は、(目標値-実績値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

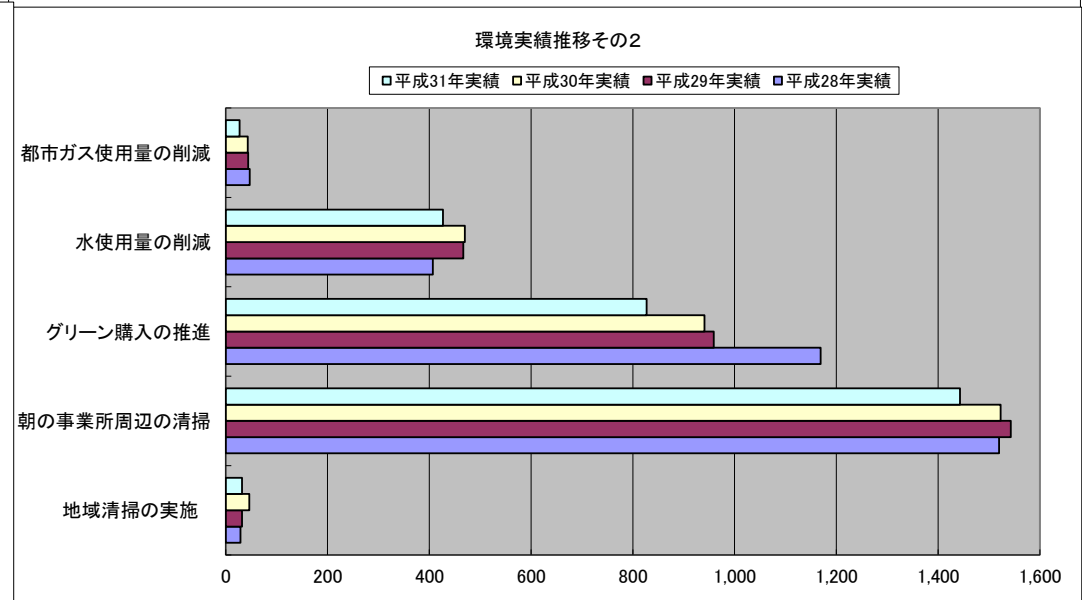
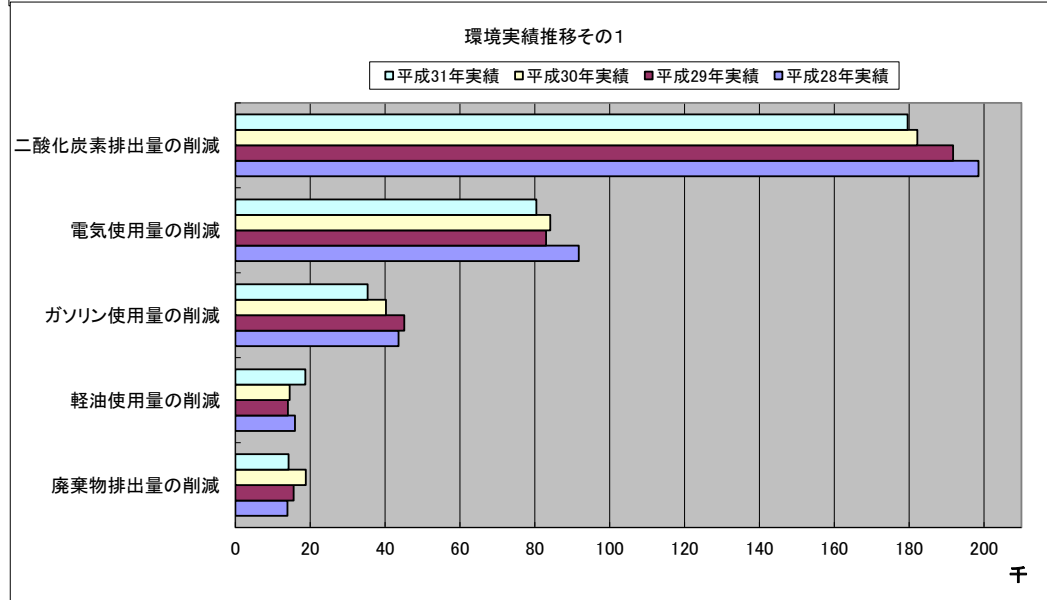
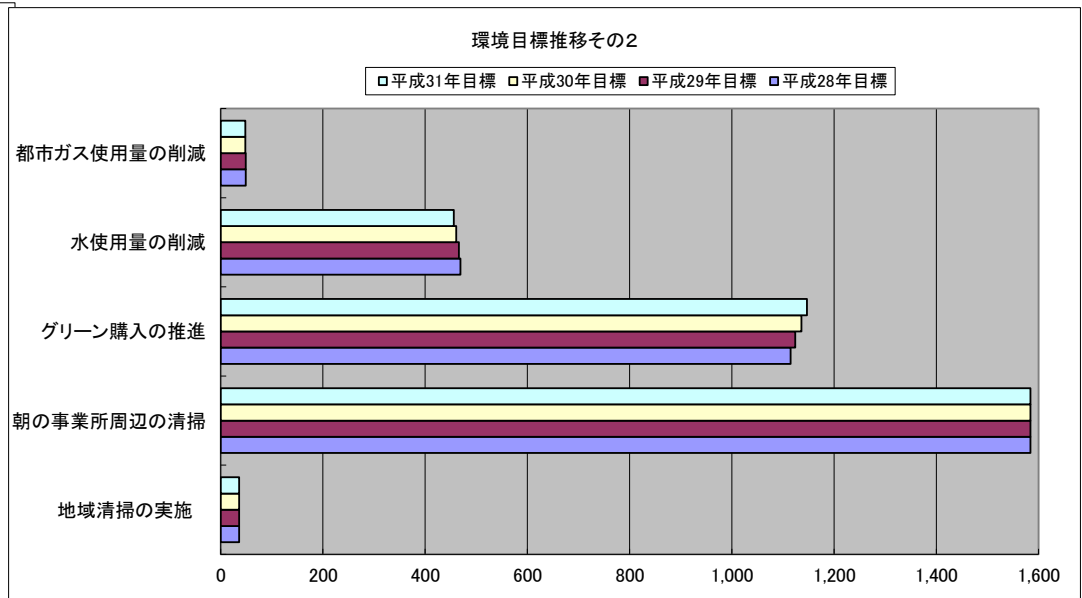
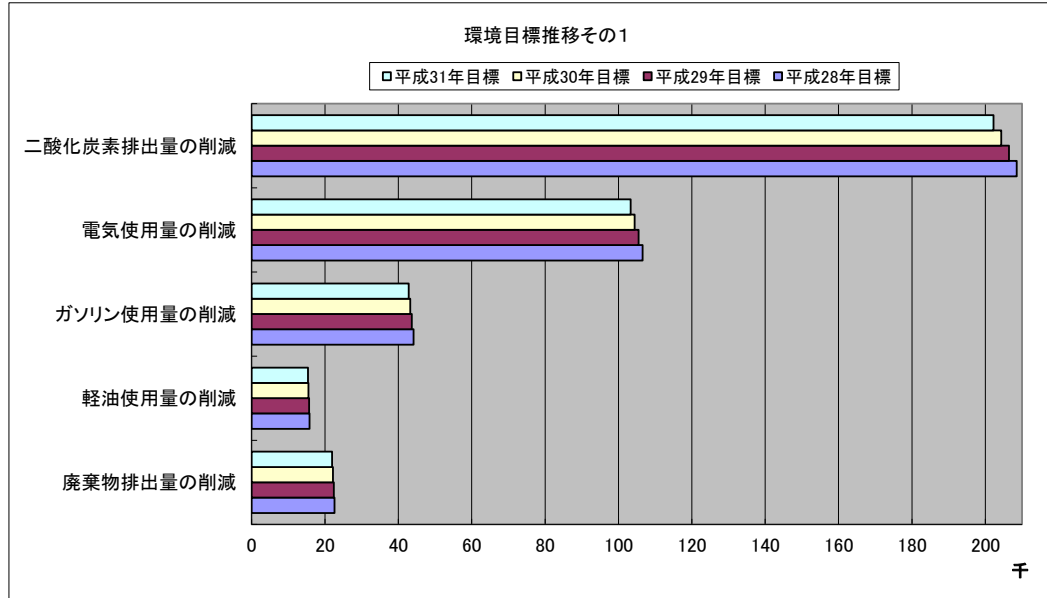
※増加が目標の項目の達成率は、(実績値-目標値)/目標値+1に100を掛けて算出しています。

部門評価	二酸化炭素排出量目標達成は、電力量の目標達成からで更に前年比では8%削減となった。 営業車は保有なく燃料からの二酸化炭素排出は無いので電力量は今後もエアコン温度調整、昼休みの 消灯など取組む。水使用量未達(前年比14%増)次年度は達成したい。
------	---

# 環境目標と実績推移グラフ

\*平成28年度「目標」は平成26年度実績の99%を設定しています。【これより目標見直し再設定：電力会社の「二酸化炭素排出係数の使用はH22年→H25年としており上昇、排出量目標も上昇と成っています】  
 \*平成29年度「目標」は平成26年度実績の98%を設定しています。  
 \*平成30年度「目標」は平成26年度実績の97%を設定しています。  
 \*平成31年度「目標」は平成26年度実績の96%を設定しています。

18



## 6. 環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容

### 6-1 二酸化炭素排出量の削減（－11％）

二酸化炭素の排出量は目標数値より前年同割合の11％少ない排出量と成り4％削減目標を大きく達成。

主因は、電気使用量（九州、関西、東京）・ガソリン使用量・都市ガス使用量の目標達成によるもの。九州電力は昨年に続き目標の2割以上軽減、空調機器の更新による効率向上を今年も認識。又、関西では賃貸大家様のご厚意もあり一部LED照明化での軽減効果が考えられる。ガソリン使用量は、営業車のハイブリッド車（アイドリングストップ車は今期なし）導入を今期6台行った事とエコドライブ推進効果による節減と思われる。営業貨物車もハイブリッド車のメーカー設定がされた為、次年度は基本全車ハイブリッド車を選択したい。未達だった軽油使用量に関しては配送トラック1台を前期最終四半期に増車した為で、次年度より目標値を組入れ軽減に取り組む。

### 6-2 廃棄物排出量削減のための取組（－35％）

廃棄物排出量の削減は引続き意識向上で排出量軽減に取り組んだ結果、目標値を昨年以上に大きく達成した。要因は、毎年取り組んでいる5S活動の年1回の書類廃棄の継続で実施月の廃棄量超過はあるが、年間の排出量が少しずつ減少しているため。又、営業関係の商品案内パンフレット類は近年全てデータ化されており必要毎プリントのため、更新入替え時などの紙廃棄が激減している。手持ちの各種資料の電子化をより一層行い廃棄物削減に努める。

食品廃棄物の発生は目標達成。仕入れ時の物流荷扱いも保護材を使用し破損防止を行っており商品への異物混入も回避する状況があり事故発生は減少も皆無ではない、発生時は仕入先責任範囲で仕入先による対応と成っている事を確認した。安心・安全な商品の供給で商品取扱いには十分注意をしており結果として事故抑制になっている、発生による損失は出さないの意識で取り組む。

### 6-3 水使用量削減のための取組（－6％）

水使用量は、前期末達も今回は達成した。

本社の節減が鹿児島・北九州・大阪姫路の目標超過をカバーした。

本社構内の清掃など効率良い利用もあり節減に繋がったと思われる。

節水ラベルにより節水意識をより定着させ継続した節減に努め目標達成を目指す。

#### 6-4 製品の配送ルートを効率化する

配送予定地区の取引先へ事前に配送予定内容の確認を行いルート上の配送日をまとめる取組、配送品の数量をまとめる相談の取組を常に行っておりかなり定着している。

配送先は営業活動により新たな先も発生している又、鹿児島においても新たな配送トラック導入後も同様に配送ルートの見直しと新規構築を継続して行いより良いルート効率化を目指す。

#### 6-5 グリーン購入の推進（－320個）

購入自体の必要性が少なく購入総量減少で目標未達。

前年比114個減少している、購入は引続き必要毎の調達で問題ない。

購入時のグリーン購入対象品を選択する意識は定着しており、購

入時はグリーン商品を最優先で選定する。

#### 6-6 地域貢献活動の推進

朝の事業所周辺の清掃は、天候に左右される場合があるが習慣化しており継続して実施している。今年度より土曜休日を増加した為、稼働日が減少した影響で実施回数も減少した。次年度より4年間設定した目標に反映させた。

地域清掃の実施については、昨年達成したが再度未達と成った。福岡営業所と本店営業部の統合移転により地域環境が変わった影響。以前より地域差があり地域情報収集を推進しており移転先も同様に共同清掃などの情報収集を推進し全社達成を目指し取組む。

#### その他取組事項

前年同様、エコキャップの回収を継続して行っている。当期は1,700個（前期900個）のエコキャップを回収した、今後も継続する。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

環境関連法規	要求事項	遵守状況のチェック結果
容器包装リサイクル法 (容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律)	事業者及び消費者の責務	該当なし
食品リサイクル法 (食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律)  罰則 右記の内容は該当者、法人はもちろん代理人、 使用人等が犯した場合も本刑は科される。	事業者及び消費者の責務 弊社は、「食品廃棄物等多量発生事業者」には当たらないので、定期的な報告は不要である。	発生実績 0
	勧告・命令	該当なし
	登録再生利用業者	該当なし
	報告の義務 登録の更新	該当なし
「廃棄物処理及び清掃に関する法律」 一般廃棄物の処理	委託	廃棄物処理は許可業者その他環境省令の定めるものに委託している
	委託基準	適正に委託している
「廃棄物処理及び清掃に関する法律」 産業廃棄物処理法 (産業廃棄物の排出量は、ゼロでした)	処理の義務	該当無し
	処理基準	該当無し
	保管基準の遵守	該当無し
	許可業者への委託	該当無し
	委託基準の遵守	該当無し
	処理状況の確認	該当無し
	管理票(マニフェスト)の交付	該当無し
	管理票(マニフェスト)の写しの保存期間	遵守
	管理票(マニフェスト)の控え(A票)の保存義務	遵守
	管理票(マニフェスト票)に関する知事への定期報告	該当無し
「毒物及び劇物取締法」 製造販売以外の毒物又は劇物を業務 上取扱うものの遵守事項	毒物又は劇物の取扱	適正に使用、措置
	毒物又は劇物の容器 被包への表示義務	表示済み
	毒物又は劇物の陳列場所の表示義務	表示済み
	廃棄基準、運搬等の技術上の基準、事故時の処置	遵守
フロン類の使用の合理化及び管理 の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	業務用エアコン(圧縮機電動機定格出力:7.5kW未満) 簡易定期点検	遵守
	業務用エアコン(圧縮機電動機定格出力:7.5kW未満) 引渡義務、費用負担	該当無し
	フロン類の放出禁止	該当無し
特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	事業者及び消費者の責務	遵守
	料金の請求	該当無し
使用済小型電子機器等の再資源化の促進に 関する法律 (小型家電リサイクル法)	事業者の責務	遵守
肥料取締法	登録及び 仮登録の申請	遵守
	届出義務	遵守

当社に摘要される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。  
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

## 8. 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

評価及び見直しを実施した年月日	令和2年7月31日
代表者確認	川村 修平

評価	環境への取組は適切に実施されているか	各営業所・各部門とも記録シートへの記録、環境活動は部門打合せによる情報共有と共に適切に行っています。
	環境経営システムが有効に機能しているか	各部所、エコアクション21活動状況、数値実績を確実に記録保管しておりシステムが有効に機能している。環境経営システムは適切だと考えます。
見直し (変更の 必要性 と指示)	環境方針 変更の必要性(有 <input checked="" type="radio"/> 無)	平成26年度より「自ら生産・販売・提供する製品及びサービスに関する項目」を環境方針に追加した。
	環境目標・環境活動計画 変更の必要性(有 <input checked="" type="radio"/> 無)	平成26年度実績をベースに平成28年度～31年度の環境目標を設定しており今年度で終了。次年度より4年度分の目標を平成30年度実績ベースで算出設定した。営業部門の統合があり新しい目標には実績移行で反映させた。車両燃料効率指標として燃費を取入れる準備を行っているが走行距離記録不足があり改善する。
	その他の環境経営システムの 要素変更の必要性(有 <input checked="" type="radio"/> 無)	経営システムは、適切に機能しており、変更の必要は直ちには必要ありません。
	前回の指示事項	指示事項なし